

教育・研究などへの取組状況(令和5年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	西野 達雄

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 担当科目 英語表現1、英語IV、特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表現1では板書をできるだけ控え、必要な情報提示はできるだけパワーポイントを使用して行った。板書よりも見やすく、Google Classroom 等で配信もできるので学生に好評だった。授業評価アンケートでは、ペアワークなどの活動が多かったことで、授業を楽しく受けることができた／英語を使う場面が多かったことで実践的な練習になった／文法等の説明が丁寧でわかりやすかった、等の好意的な意見が多い一方で、進度がやや早い／文法の説明をもっと詳しくしてほしい、のような改善点の指摘もあった。 ・英語IVではタイムリーな話題として SDGs を扱った教材を選定した。ビデオによるリスニング教材が好評であった。授業評価アンケートでは、読解のみならず、聞き取りや会話の練習もできた／授業資料の配信があったので復習できた／SDGsの勉強になった、等の好意的な評価がある一方で、小テストが難しすぎる／TOEIC Bridgeの足切り点が高すぎる、のような改善すべき点の指摘もあった。 ・特別研究は引き続き、「理想の〇〇を考える」をテーマに行った。
研 究	<p>◆ 研究テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生成 AI が英語学習や英語学習者に与える影響に関心があり、Chat GPT や Grammarly 等を試用するとともに、関連する文献やサイト等で情報を収集している。
社会貢献	<p>◆ 学協会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等専門学校英語教育学会会員 ・中国地区英語教育学会会員 ・外国語教育メディア学会会員 ・実用英語技能検定面接委員

教育・研究などへの取組状況(令和4年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	西野 達雄

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 担当科目 英語表現Ⅱ、英語表現Ⅲ、英語演習 B、特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表現Ⅱでは文法問題演習に Google フォームを活用した。学生は自分のペースで解答および正解の確認ができ、教員は学生個々の学習進捗状況や理解度の確認をしやすくなった。このやり方は授業評価アンケートでもたいへん良かったとの反応が多かった。 ・英語表現Ⅲではプレゼンテーション原稿の作成に Google ドキュメントを使用したので、添削やコメントなどの個別指導を効果的に行うことができた。Google フォームを使った問題演習はおおむね好評だったが、試験前に全体を見直すにはやや不便であることが判明した。 ・英語演習 B では米国で制作されている高校生向けニュース番組(CNN10)を素材としたテキストを使用した中・上級者向けの英語聴解・読解演習を行った。ややハードルが高いと感じた学生もいたようだが、多くの学生からリスニング力がついた、TOEIC のスコアがアップしたという声が聞かれた。 ・特別研究は引き続き、「理想の〇〇を考える」をテーマに行った。
研 究	<p>特記事項なし</p>
社会貢献	<p>◆ 学協会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等専門学校英語教育学会会員 ・中国地区英語教育学会会員 ・外国語教育メディア学会会員 ・実用英語技能検定面接委員

教育・研究などへの取組状況(令和3年度)

総合工学システム学科	系・コース
	一般科目系
職階	氏名
教授	西野 達雄

項目	取組状況
教 育	<p>◆ 担当科目</p> <p>英語表現 I、英語IV、英語応用演習Ⅱ、特別研究</p> <p>◆ 担当科目の取組状況(工夫・改善した点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語表現 I では授業の最初にペアでミニ英会話をさせ、英語を話すことを楽しむ習慣を付けさせた。板書の文字は読みにくそうなので、できるだけプロジェクター(スライド)を利用した。スライドの利用は学生に好評であった。 ・英語IVでは米国の科学ニュースサイトの映像を素材にして作成された総合英語教材(Inside Science)を使用して、Reading、Listening、Grammarの総合演習を行った。映像や音声をオンデマンドで視聴できる教材は学生の学習意欲を刺激し、自学自習を促す効果があったものと思われる。 ・英語応用演習Ⅱでは英語プレゼンテーションに3人のチームもしくは個人で取り組みさせた。優秀なチームと個人は近畿地区高専英語プレゼンテーションコンテストに出場し、チームは特別賞を受賞した。外国人講師も原稿作成から発音・質疑応答指導などで重要な役割を果たした。 ・特別研究は、「理想の〇〇を考える」をテーマに行った。
研 究	<p>特記事項なし</p>
社会貢献	<p>◆ 学協会活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国高等専門学校英語教育学会会員 ・中国地区英語教育学会会員 ・外国語教育メディア学会会員 ・実用英語技能検定面接委員